

(別紙3)

神奈川県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証評価報告  
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	イノシシ
技術名	わな捕獲に係る遠隔監視システム
実証地域	横須賀三浦地域
実証時期	令和5年7月～令和6年3月

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の状況及び課題等

横須賀三浦地域では近年イノシシが分布するようになり、分布拡大防止に向けた早急な対策が必要とされている。  
同地域のうち葉山町域では、鳥獣被害対策実施隊主体の捕獲体制が敷かれている中で、イノシシが多く生息することが推測されるものの捕獲が進んでいない地域が存在する課題がある。

3 地域実証する技術の概要

捕獲を無線で通知することでわなの見回りの負担軽減効果の期待できる狩猟用発信機（アンテナの違いにより電波の到達距離が異なる2機種）を捕獲の難しい地域でのくくりわなによる捕獲で実際に使用することで、長所や欠点等の特性について確認し、地域への導入・普及の実用性を検討する。

- ・狩猟用小型発信機 NW3000 または NW3500（（株）NATEC 製）をイノシシ捕獲用くくりわな 10 基に設置
- ・動物発信機専用受信機（（株）サーキットデザイン製）で発信機からの電波を受信

狩猟用小型発信機



受信機



注：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

4 具体的な実証の方法・内容

1 現地踏査

くくりわなの設置前に現地踏査を行い、イノシシの痕跡等から設置箇所を選定した。

2 くくりわな・発信機の設置及び移動

選定した場所にくくりわな及び発信機を設置し、位置情報をGPS機器等で記録し

た。

### 3 わなの稼働と稼働状況の見回り

発信機の作動状況を1日1回、受信機により確認し、わなの稼働が確認された場合は現地で捕獲の有無を確認した。

わなの状況等を週に1回、くくりわな及び発信機の設置場所に赴いて確認した。

捕獲があった場合は止めさしの後、個体情報の記録、頭蓋骨の採取、捕獲個体の処理等を行った。

### 4 実施結果

・捕獲実施期間：令和5年10月28日～令和6年3月10日

延べ2,278TN（134日×17基）

・捕獲頭数：19頭

⇒第3四半期は横須賀三浦地域の捕獲のうち約1/4が本事業

・新機材による効果：

NW3000とNW3500をほぼ同位置に設置したくくりわなで比較すると明らかにNW3500の方が遠距離で受信でき、また電波の途切れもなく受信状態が良く感じられた。今回の現地実証場所である葉山町においては、すべての国道及び県道で受信が確認でき、くくりわなの作動状況を確認する巡回作業が車両により行えるため時間短縮に資することが確認できた。

注1：2の課題等を踏まえた技術実証の方法や内容を具体的に記入すること。

注2：事業終了後の評価報告においては、注1を踏まえ、その評価結果を具体的に記入すること。

### 5 その他

注：地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

(別添) 実施地域

